

男女共同参画意識に関するアンケート結果

1. 目的

第 3 次石狩市男女共同参画計画の進捗状況および男女共同参画に関する市民意識を把握し、本市の男女共同参画推進事業に活用するため実施

2. 対象者の抽出方法

市内に居住する 20 歳以上の男女 1,000 人

- 1 地域別割合：旧石狩市 900 人、厚田区 50 人、浜益区 50 人
- 2 年代別割合：20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以降を概ね均等
- 3 男女別割合：各世代を概ね均等

3. 期間及び方法

期間：平成 28 年 12 月 2 日（金）～12 月 16 日（金）

方法：対象者にアンケート書類一式を郵送、返信用ハガキにより回収

4. 回収状況

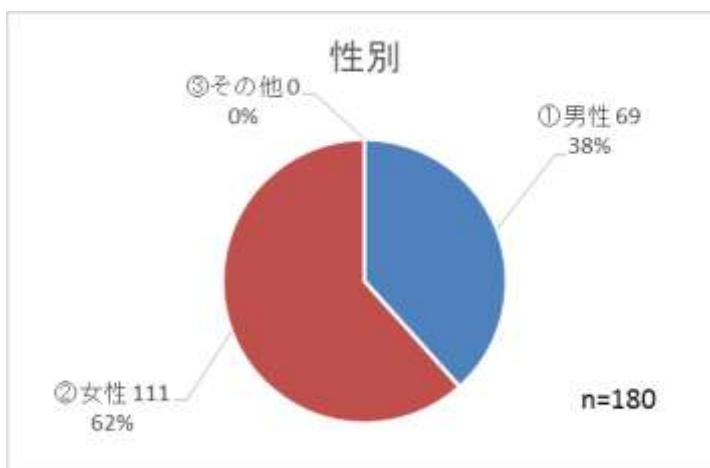
回収件数は 180 件で回収率は 18.0%

1 性別

男性が 13.8%、女性は 22.2%の回収率となっています。

項目 \ 性別	① 男性	② 女性	③ その他	合計
配布数(件)	500	500	—	1,000
回収数(件)	69	111	0	180
回収率(%)	13.8	22.2	—	18.0

※配布時は住民基本台帳に登録されている性別としているが、性的マイノリティ（LGBT）の方に配慮し回収時には「③その他」を選択可能としています

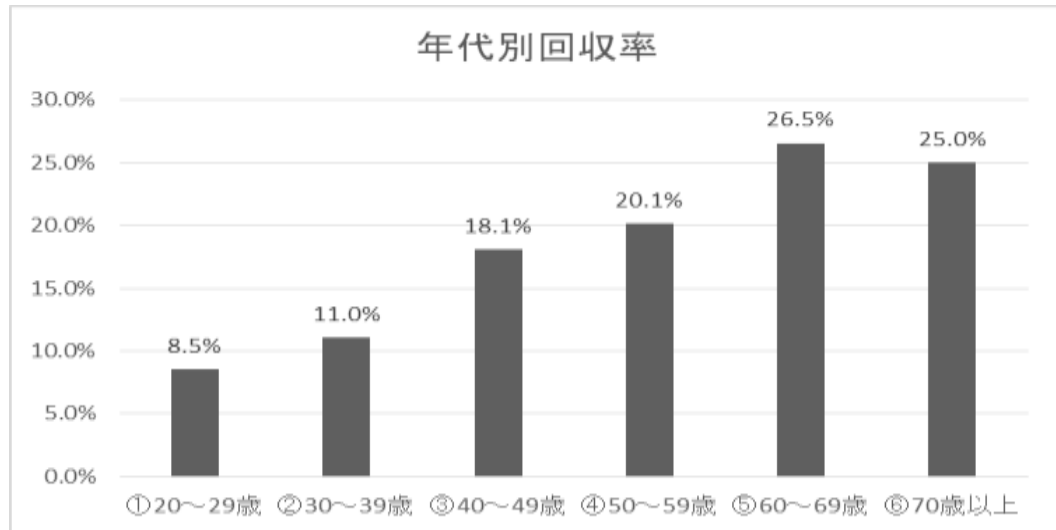


2 年齢

⑤60～69 歳が 26.5%と一番高く、次が 70 歳以上の 25.0%と高齢の方からの回収率が高い一方で、①20～29 歳が 8.5%、②30～39 歳が 11.0%と若年層の回収率が低くなっています。

また、全ての年代で男性より女性の回収率が高くなっています。

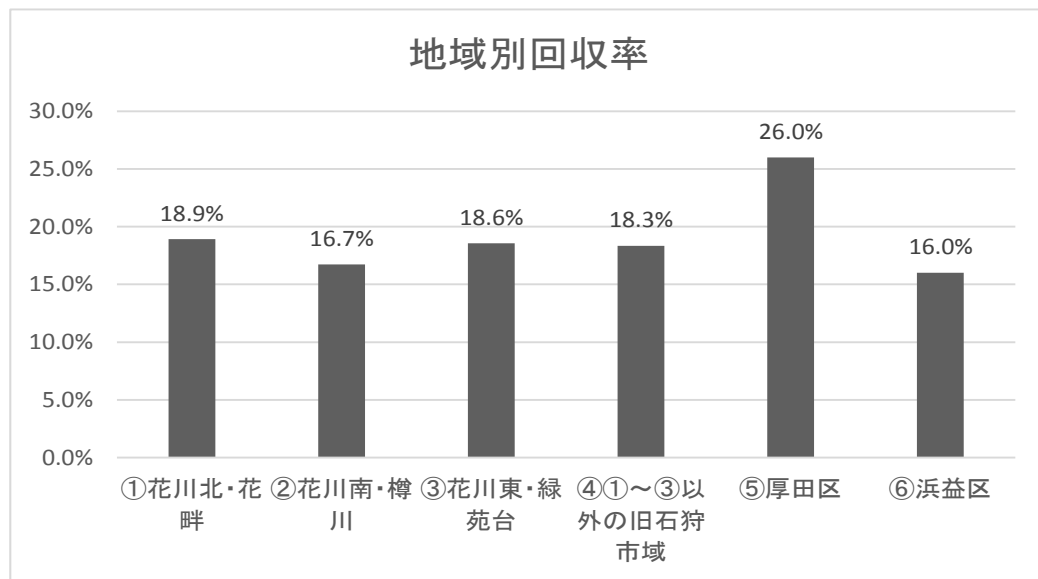
項目 \ 年齢	①	②	③	④	⑤	⑥	合計
	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	
配布数(件)	176	172	166	164	162	160	1,000
回収数	男性	3	6	10	13	17	69
	女性	12	13	20	20	26	111
	合計	15	19	30	33	43	180
回収率(%)	8.5	11.0	18.1	20.1	26.5	25.0	18.0



3 お住まい

どの地域も同程度の回収率となっています。

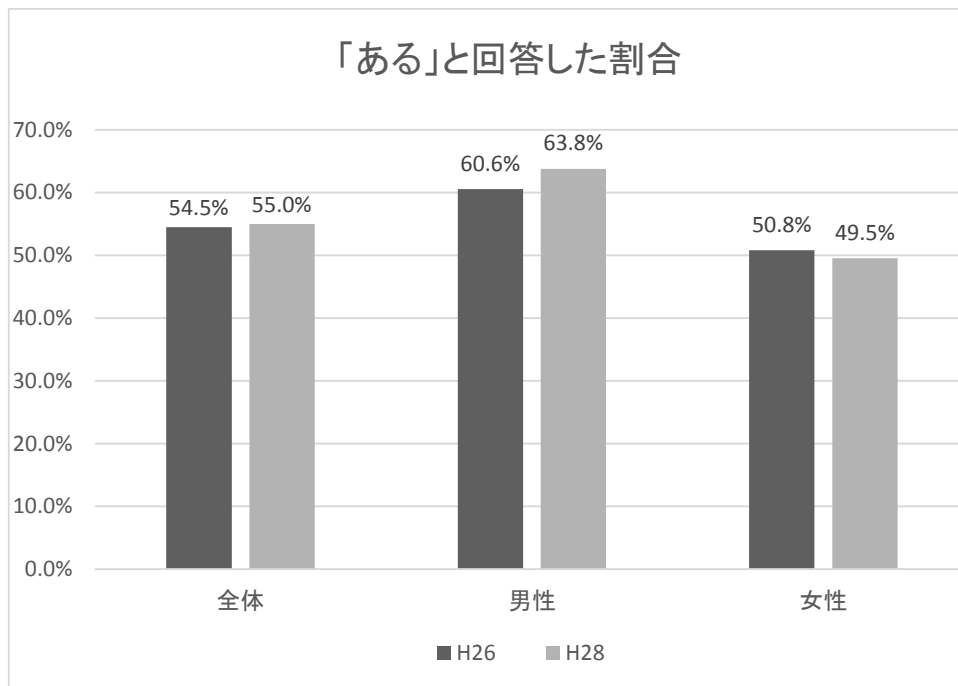
地域 項目	① 花川北・ 花畔	② 花川南・ 樽川	③ 花川東・ 緑苑台	④ ①～③以外の 旧石狩市域	⑤ 厚田区	⑥ 浜益区	合計
配布数(件)	280	490	70	60	50	50	1,000
回収数(件)	53	82	13	11	13	8	180
回収率(%)	18.9	16.7	18.6	18.3	26.0	16.0	18.0



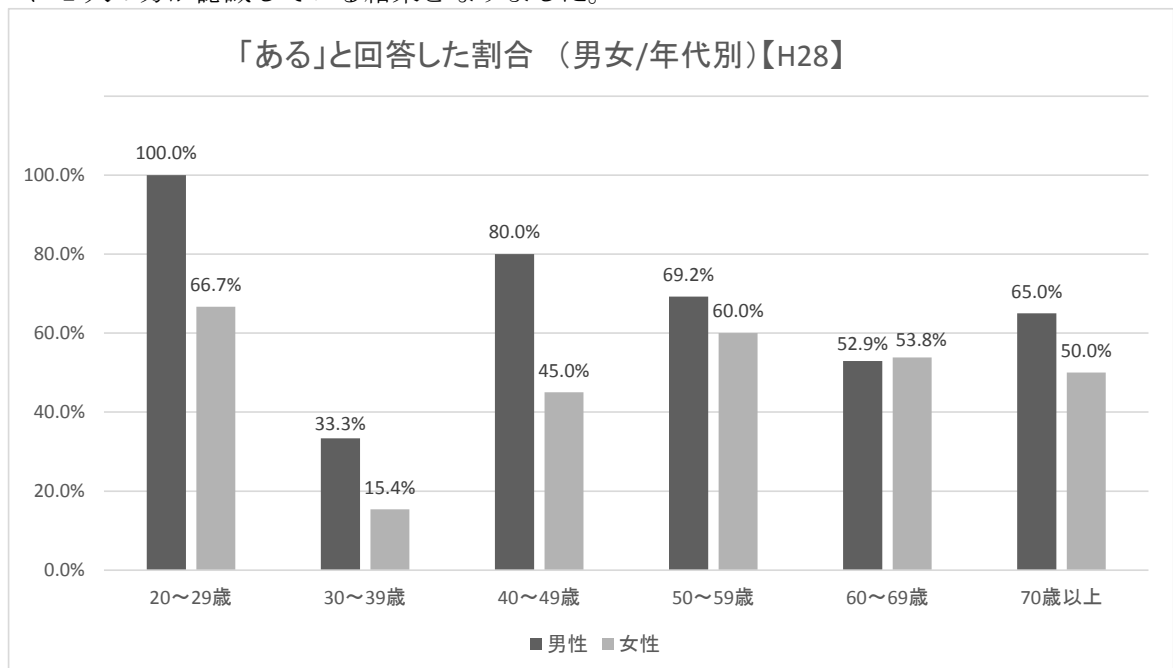
5. 分析結果

問1：あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を見たり聞いたりしたことはありますか？

① ある ② ない



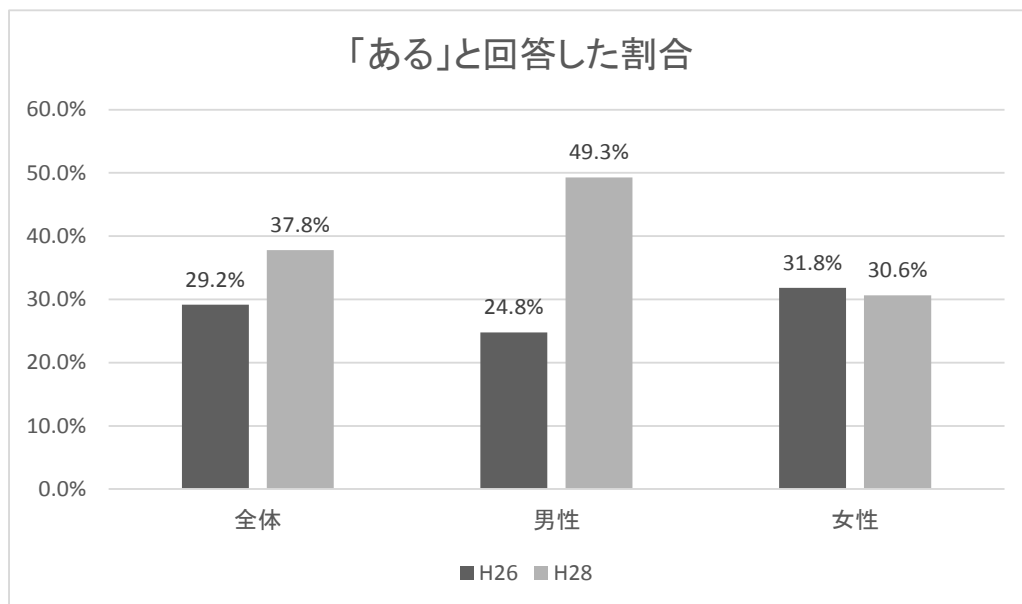
- ・見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した人の割合は、平成26年度調査（54.5%）と平成28年度調査（55.0%）ではほぼ同程度の割合となっています。
- また、平成28年度調査では、女性が49.5%と半数以下となった一方、男性は63.8%と3人に2人の方が認識している結果となりました。



- ・ほぼ全ての年代において、女性より男性の方が高い傾向にあります。
- また、男性は20～29歳が100.0%、40～49歳が80.0%と比較的若い年代の認識が高い一方、女性は30～39歳を除くと比較的各年代で認識に差はありませんでした。

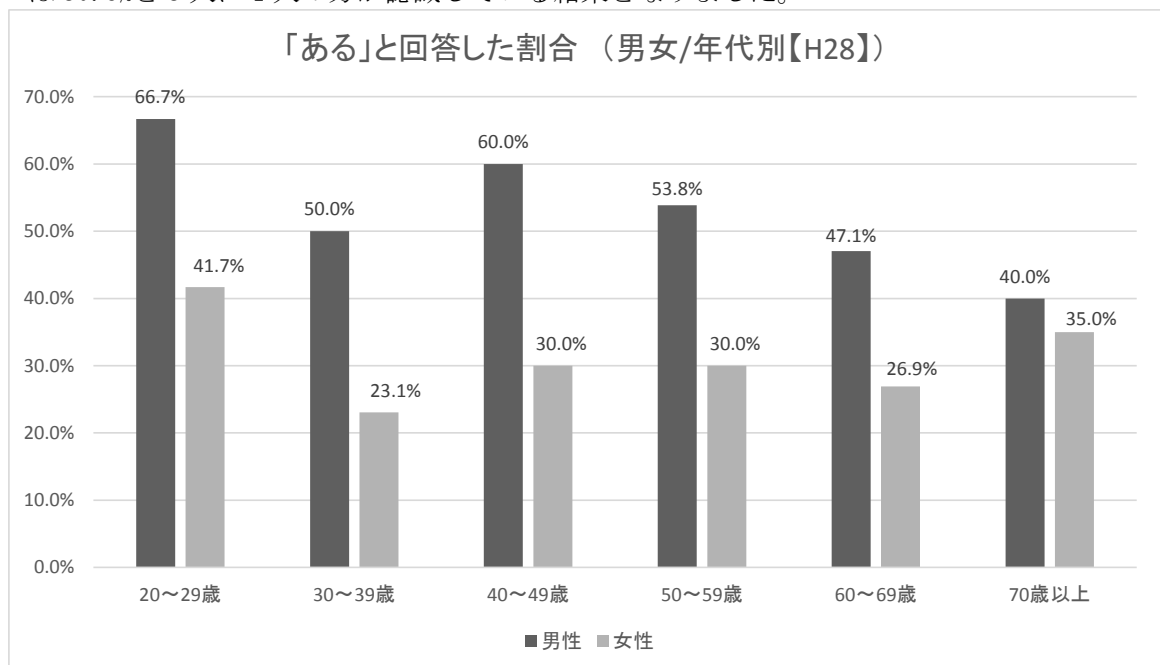
問2：あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を見たり聞いたりしたことはありますか？

① ある ② ない



・ 見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した人の割合は、平成26年度調査（29.2%）より平成28年度調査（37.8%）の方が高くなっています。

また、平成28年度調査では、男性が49.3%と約半数の方が認識しているのに対し、女性は30.6%と3人に1人の方が認識している結果となりました。



・ 全ての年代において、女性より男性の方が高い傾向にあります。

また、男性は20～59歳までが5割以上と若い年代の認識が高い一方、女性は比較的各年代で認識の差はありませんでした。

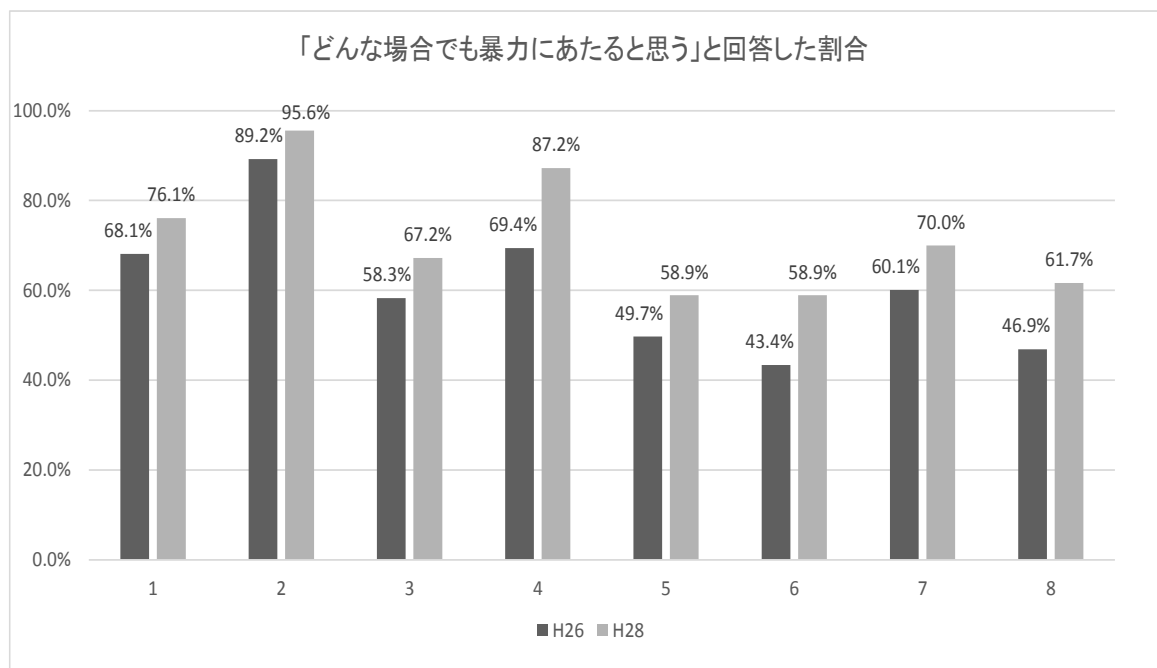
問3：あなたは、次のようなことが夫婦（恋人）間で行われた場合、それを暴力だと思いますか？

項目(1)～(8)について、あなたの考えに近い番号を○で囲んでください。

※「夫婦」には 婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含まれます

- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ② 暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

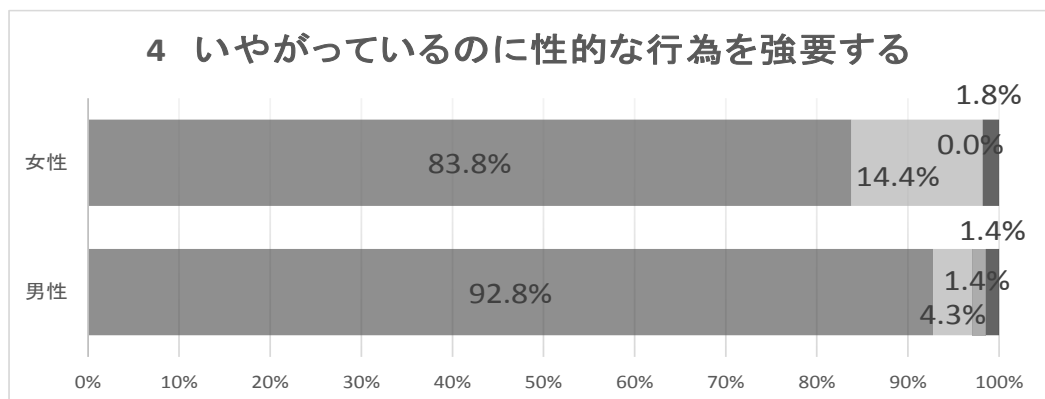
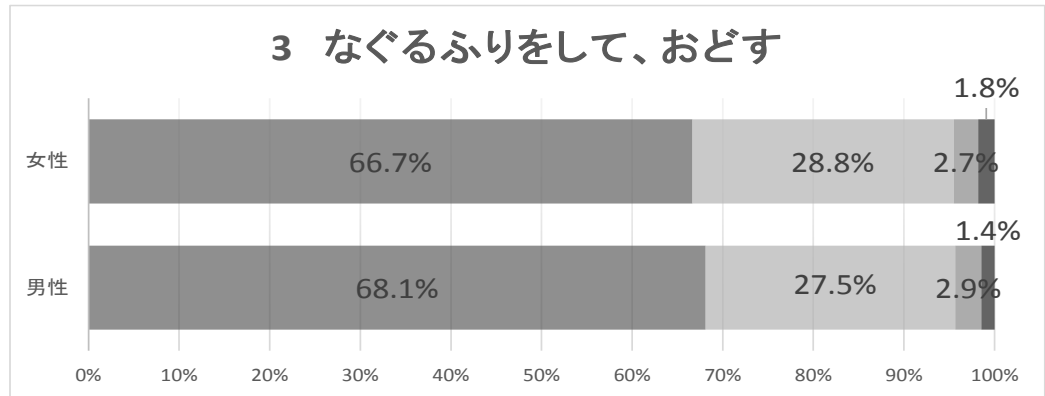
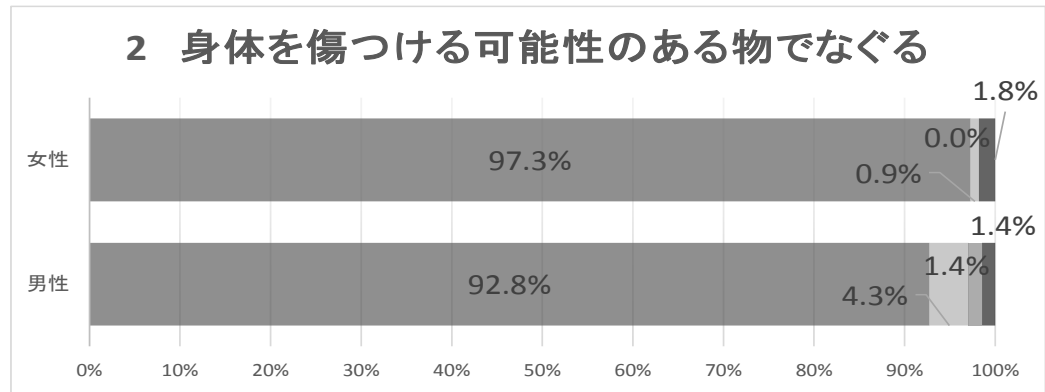
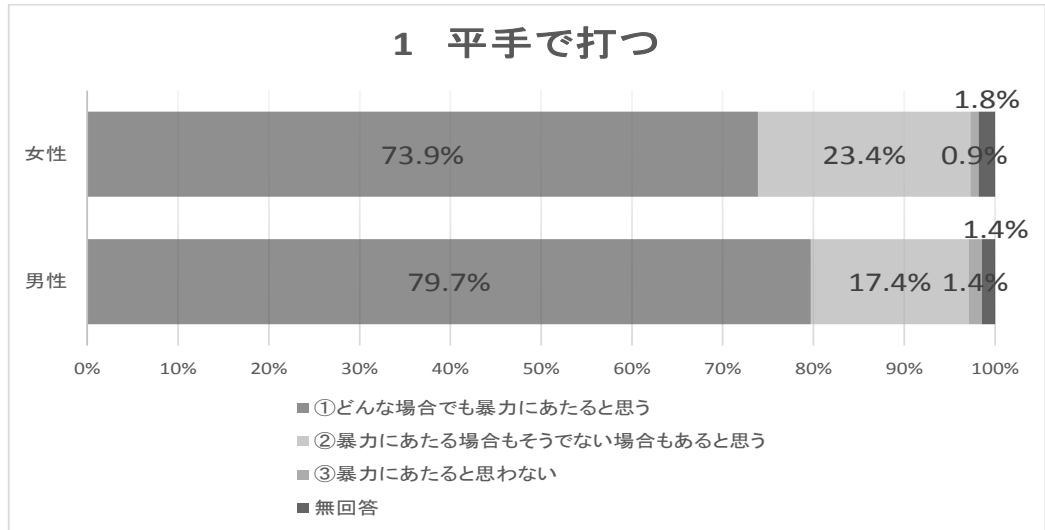
	項 目	番 号
1	平手で打つ	
2	身体を傷つける可能性のある物でなぐる	
3	なぐるふりをして、おどす	
4	いやがっているのに性的な行為を強要する	
5	何を言っても長期間無視し続ける	
6	交友関係や電話を細かく監視する	
7	「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」と言う	
8	大声でどなる	

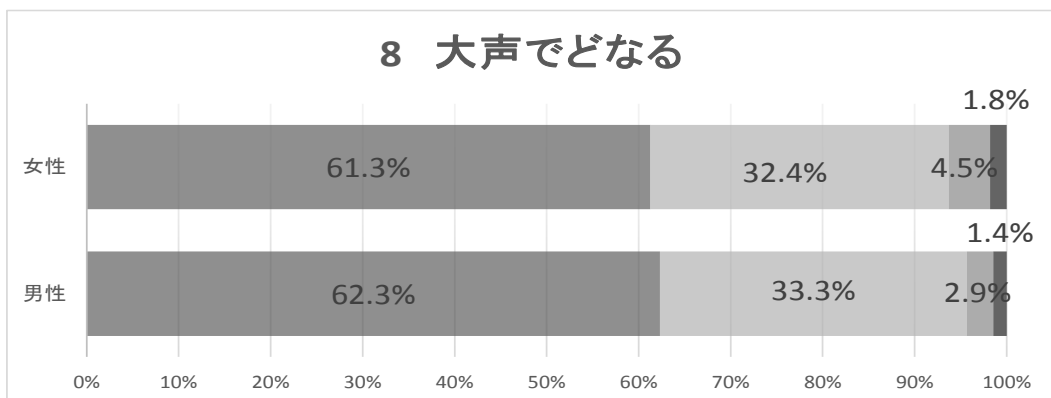
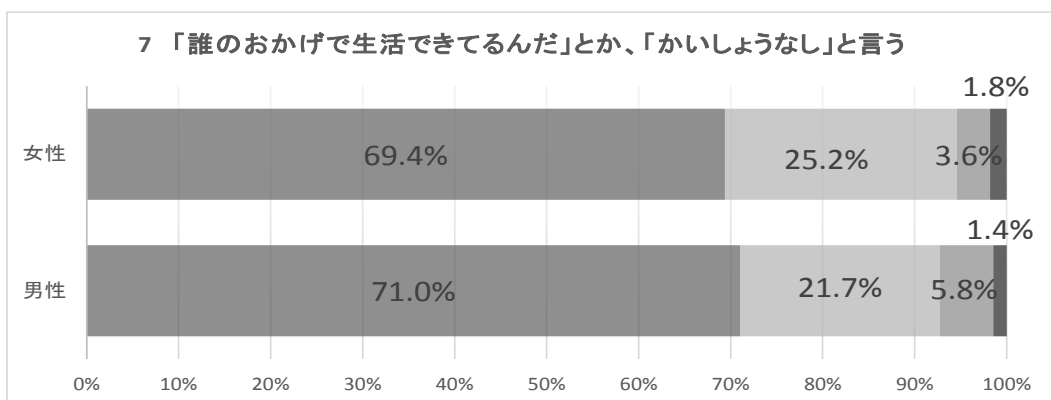
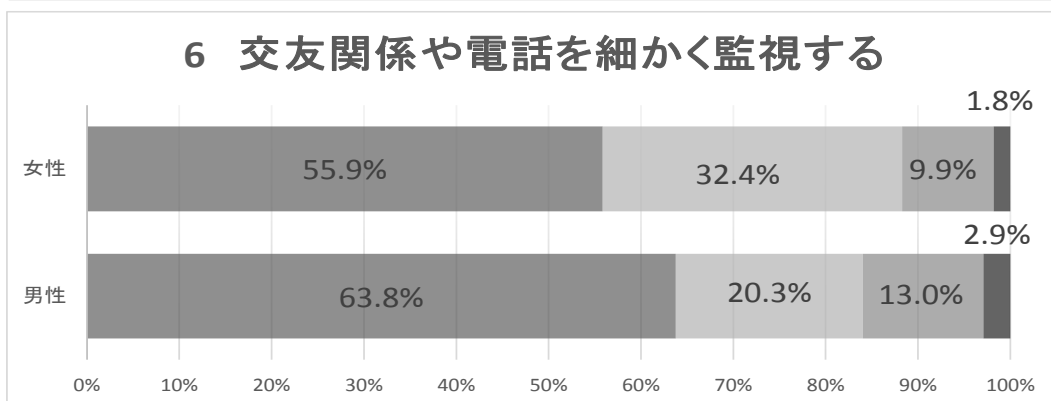
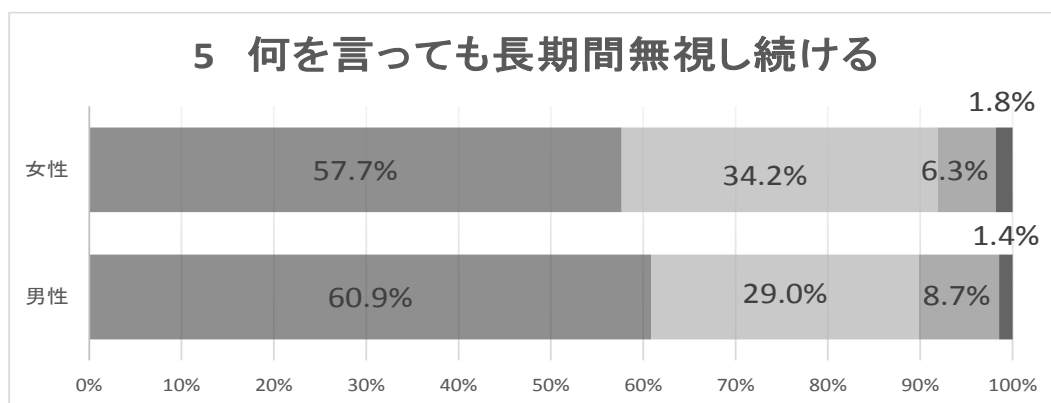


・「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は、全ての項目で平成26年度調査より平成28年度調査の方が高くなっています。

また、平成28年度調査では、全ての項目で半数以上の方が認識しています。特に1～4の身体的な暴力についての認識が、ほぼ7割以上と高くなっています。

問3：項目別





- 男女間の認識の差については、「4 いやがっているのに性的な行為を強要する」と、「6 交友関係や電話を細かく監視する」という行為を暴力と認識する男性の割合が、女性より約1割高い結果となっています。

問4：あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するために、どのようなことを心掛けていますか。（自由記述）

20 代女性（4 件）

- 自分の時間を持つ！目標をもって行動する（やりたいことを常にもって生きる！）そして家族との時間を大切にする。定時に上がるホワイト企業に勤める。
- 無理をしない。
- 心掛けはナシです。うちは子どもがいるので…子どもがいるとやっぱり母親は子どものそばで必要を満たすのが優先だと私は考えます。ワーク・ライフ・バランス、確かに良いと思います。
- 家の中の仕事を無理なくやる様にしている。子育て世帯にはむずかしいと思う。

20 代男性（1 件）

- 自ら、やりたいことを発言する。
-

30 代女性（6 件）

- 仲良く何でも話し合う。
- 何も心がけていないが旦那が優しいので満足しています。
- ひとりで悩まず、家庭や職場において相談できる信用のおける相手を持つこと。
- 全てバランスよく生活するのは大変だが、息抜きをしつつ、ストレスをためない様に生活することが大切だと思います。
- 何かあったら自分の信頼できる人に相談する。自分のなかに溜め込まずに吐き出すようにしています。自分がつぶれたら子どもを育てていけなくなるのでそうしています。
- 全然わからない。

30 代男性（3 件）

- 感謝の気持ちを大切に。
 - なるべく定時で帰れるように心掛ける。（必要のない残業はしない）
 - 必要以上に関わらない。
-

40 代女性（9 件）

- 休みの日に仕事をしない。
- 自分が無理をしないようにできる範囲で色々な人と関わっていきたいと思っています。過去に頑張りすぎて体を壊したのでマイペースで過ごしています。
- 女性ならではの目線で（あえて）ボランティア活動などに取り組んでいる。
- 1ヶ月に1,2回家事をさぼる・1日中子供との時間を作る。

- 仕事をする上で、心身の健康を保つことが大切と考えています。そのためにも、仕事だけの生活ではなく、余暇を有効に使って、自分を高めたり、リフレッシュしたり、体を休めるようにしています。心身の健康がよりよい仕事や生活につながると考えます。
- 自分一人の力ではうまくできないと思うので、お互いに協力し合うように声を掛け合っている。全てに一生懸命にならなくても。たまには手を抜く。それも協力し合って。
- 家族の食事を全て手作りする時間が確保出来る様にしている。
- バランスの良い生活を送るためには資金も必要。人は欲求を満たすために資金が必要不可欠であるのに自由に仕事ができない環境にあり心がけるために欲求をつぶしています。

40 代男性（4 件）

- 相手の気持ちを考えて行動・発言をすること。自分がもしされたら嫌だと思うことを人に対して行わないこと。
 - 他人が自分と合わない行動や発言をしても、怒ったり、中傷したりせず、自分と違う種類の人間だと割り切って、自分のストレスにならないように心掛ける。
 - 夫婦とは、互いが尊重し、尊敬しあえる関係を築き合う事を心掛けています。
 - 自営業なのですが収入のためにはやはり仕事にかたよりがちです。ワーク・ライフ・バランスの実現はまだまだ先になりそうなのが現実です。
-

50 代女性（9 件）

- 介護中だが月 2 回のボランティア参加、50 代は次から次と家族の介護つづきストレス！バランスとれてない。
- 言いたい事は相手に言うようにしている。
- すべて自分の気持ちの持ち方（考え方）次第である程度のことは対処できると思う。
- 結婚してから、正社員で仕事しています。私の仕事を夫、子供に理解してもらう地域の活動は夫にも参加してもらい、分担してもらう。私自身も社会の一員としての自覚を持つ事が必要だと思っています。
- お互いのコミュニケーションを深め、自分がされて嫌なことは相手にしてはいけない。能力があれば男であろうと女であろうと無関係。それらが根付けばより深い人生を歩めるのではないかと思う。
- 家でも仕事場でも違う事は違うと言う様にしています。30 代の時、あまりにも頑張って我慢してうつ病になり半年家から出られなくなって、自分ではどうしようもない辛さがあり、二度も嫌なので…でも結構言えないですが…人を見て自分を変えない様にしています。
- 知識、経験、対話をした上で、性格に基づいた結果。
- 趣味を生活の一部に取り入れる。一人の時間を作る。

50 代男性（4 件）

- 国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすと共に家庭や地域生活などにおいても多様な生き方が選択・実現できること。

- 日頃、感謝の気持ちを伝える。
 - 自然体。
 - 自分自身がやりがいのある仕事をしながら家庭の仕事もする。調和を大切にしている。
-

60 代女性（14 件）

- 自分の意思に基づく行動ができる様に体力維持に努めている。
- 体調の許す限り、仕事としてもボランティアとしても子供達、高齢者さん達と多く接して行こうと主人共々日々生活してます。
- 自分がしたいことを無理せずにする。
- 地域のサークルに参加、趣味を持ち、時々友人と会い近況報告をする等。
- ワーク・ライフ・バランスという言葉聞いた事はないのですが、内容は、身近なことで関心あります。役所や大きな病院が積極的に推進している事例を広報などで知らせてほしい、自分自身は身内の子育てや介護を積極的に手伝って推進に協力している。
- 無理をしないで、自分ができることをする。小さな幸せを見つけること。
- 特に意識したことはありませんがそうした生活を実現させるには年金などの経済的基盤の保障が必要だと思います。経済的ゆとりがなければワーク・ライフ・バランスなど理想でしかありません！
- 地域の催事等に参加して人とコミュニケーションをとるなど、孤立しないようにしています。ボランティアなど参加、協力することは自分自身の為にもなるので良い事と思います。
- 家庭第一に、それ以外で出来る事は協力する事を心がけています。
- 自分の意思をしっかりとつこと。又相手に伝わるように話をすること。
- 健康に気をつけて元気です。
- 毎日さんぽ 1 時間、野菜中心の食事、母とテレビを見ながら会話をする。
- 自分でできる努力を心がける。
- 私自身が普段から意識して生活する。男性優位の長い歴史があるので、時間はかかりますが、間違いは伝えています。

60 代男性（8 件）

- 相手の尊重、理解、自己の意識と自覚を常に確認する様にしている。
- 20～30 年前であれば意味あるアンケートですが、最近の日本社会は大きく変化し、随分改善されています。内容のないアンケートです。家庭など学校・社会での教育で変化してきていますよ。まだまだ時間が必要です。逆バージョンの DV もある事をもっと重要視することも大きな問題ですよ！
- まだ仕事に追われているようで実現できていない。
- 日常のコミュニケーション。
- 地域の人物と互いに思いやること。
- それぞれの持っている性格を互いに理解する。

○近所の人達に気軽に声掛け、職場では笑顔。悩みのある人達には話を聞いてやり安らぎを与えるように心掛けています。「目に見えぬ、神の心に叶うこそ、人の心のまことなりけり」がモットー。

○はっきり言ってあまり訳がわかりません！

70 代女性（10 件）

○現在一人暮らし。

○実現できれば最高なんだろうが現実今までのこの生活の中でいつも矛盾ばかりを感じてきました。

○夫のやりたい事は私に無理がかからない限り協力する、味覚の差による食事、夫と自分で責任を持って買い物・処理をする。

○自分自身健康に気をつけて健康年齢を少しでも長く伸ばしたいと考えています。人生の最後まで自分の事は自分で目指します。

○経済的、精神的に自立するように心がけて生活をしています。

○相手の話を聞く。

○70 歳代となり自分を見つめ生活していく事が第一と思います。さまざまな活動は体力的に出来なくなってきてますので、知り合いに会った時等、声をかけておしゃべり、笑う事、心掛けています。

○年齢的にも高くなっているので無理なことは2人で話し合い、手を借りるように声かけしています。

○お互いに良く話し合う事にしている。

○両者の立場を考える力を必要とする。

70 代男性（10 件）

○お互いに相手のことを思っていつも会話するように心がける。

○お互い趣味や意見を尊重し合うように努めている。

○パートナーを含め、周りに迷惑をかけないこと、お互いを尊重し、いたわりながら生活している。

○相手に対する気持ちをもってバランスを実現するよう心掛けている。

○家庭菜園、陶芸、地域の環境の整備等に参画。

○私には関係ありません。

○相手の目を見てよく話を聞く。

○心身共に健全であることに心掛けています。

○①女性も社会的活動に積極的に参加することをすすめる ②活動の評価に差別をつけない。

○目に見える国、地方公共団体、企業の支援体制や具体的中身についてわかりやすく PR していくべきである。
